

令和 6 年 4 月 1 日

令和 5 年度 自己評価 総括

宗教法人 善敬寺 吉田保育園

自己評価方法

- 1.保護者の皆様へのアンケートの実施(令和 5 年 10 月 12 月)
- 2.職員のチェックシートによる自己評価の実施(令和 5 年 4 月・令和 6 年 3 月=シート 1)
(令和 5 年 7 月=シート 2)

まとめ

1.保護者の皆様へのアンケートについて

【令和 5 年 10 月】

9/30 開催の運動会(3歳以上児クラス)、10/12・13 実施の保育参観(3 歳未満児クラス)、及び 12/23 開催のおたのしみ発表会の修了を期としてその内容について問うとともに平素の保育や職員の対応について自由記述形式で実施しました。

設問「運動会、保育参観について」

子どもが園でどのように過ごしているのか心配であったが運動会の友だちと楽しそうに笑う姿をみて成長を喜ばせていただいたこと、園児が発表以外のときは園内で過ごす、保護者席へのテントの設置等、熱中症対策配慮、感謝の言葉をいただきました。

一方、開催時期を涼しい時期に、屋内開催も検討を、というご意見もいただきました。

3 歳未満児クラスは運動会の代替として保育参観を実施しました。普段の園での姿を見ることができた、6 月の参観のときより成長の姿が見られた、親子で過ごす時間があってよかった等の感想をいただき感謝申し上げます。

設問「平素の保育や職員の対応について」

「園の雰囲気がよく安心して通える」「職員が親切に対応しくださり感謝をしている」「全職員が子どもの名前や保護者を認識してくださり安心感がある」「先生が子どもの性格を理解してくださって接して下さるので楽しく通っている」「何時会ってもどの先生も明るく挨拶してくれるので安心して子どもを預けられます」等、保護者の皆様にはわたくし共が目標に掲げる「和顔愛語の職員集団」を感じて安心を得ていたに感謝を申しあげ今後も心がけて参りたいと思います。

一方、子どものことを相談したいが(保育者が)いそがしそうにしているので声がかけずらいというご意見をいただきました。懇談の機会を積極的に設けるなど対応して参りたいと存じます。

また、先ほどの評価と矛盾しますが、一部職員で挨拶をしない者がいることのご指摘を頂戴いたしました。全職員で共有し改善に努めてまいります。

【令和 5 年 12 月】

おたのしみ発表会は今年度、感染症が流行期を迎える前の 12 月開催とし、内容を検討し昨年度までとは変更した内容で開催をしました。園生活を通して子どもたち一人ひとりが成長した姿を保護者と共有し、歌や劇に捉われず子どもたちのやりたいことを発表することとしました。

保護者の皆様からは、以前のような歌や劇の発表を望むお声もいただきましたが、新しい形式への評価の

お声もいただきました。なぜこの形式内容に変えたのか更にご理解をいただくために当園の保育方針、保育所保育指針の内容を踏まえ丁寧に説明を更に変更していただくことが必要と感じます。

また、「発表を通して友達や保育者と良い環境で良い関係が築けていることがつたわり安心した」「普段の保育の中で楽しく過ごせているからこそしっかりとした発表ができるのだと思うので感謝いたします」

「一人で舞台上に立ち堂々と発表する姿に感動した」「出来栄えより子どもががんばって取り組んでいる姿で十分なおたのしみ発表会だと思います」等、園の方針をご理解いただきお喜びいただいた感想もいただきました。DVDの販売についてご希望のご家庭が複数ありましたので検討してまいりたいと思います。

2.職員のチェックシートによる自己評価について

シート1の保育計画 保育環境 保護者対応 自主研修 職員との協力 望ましい職員としての項目について積極的に取り組んでいる姿勢がほとんどの職員が見られました。ただ、経験年数の浅い職員の中には自らの努力が足りないことへの反省を含め評価をしています。

シート2の子どもの発達援助の観点の項目「子どもの姿を捉えた準備」「客観的な振り返り」の確認項目は「できている」としていました。「意識的な実践」例えば「子どもの姿や事象によっては計画に沿わない活動も取り入れている」「子どもに対し指示、命令、依頼の言葉よりも誘いかける言葉を多くしている」については、「できている」、「できていない」が昨年度はほぼ半々の評価でありましたが、今年度は「できている」とした職員が多く、研修をとおり研鑽を重ねた表れであろうと思います。今後も怠ることなく一人ひとりの育ちに留意して保育の環境を見直して参ります。

また、今年度は「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いて不適切な保育防止への意識を高めさせていただきました。